



# 韮崎市【山梨県】 歴史文化基本構想

■ 策定年月：平成23年3月 ■ 人口：32,014人 ■ 面積：143km<sup>2</sup>  
■ 担当課：韮崎市教育委員会教育課（平成30年3月現在）



歴史文化資源の保存活用に係るマスタープランとして位置づけ、韮崎固有の歴史的環境を舞台として、暮らしやすく、誇りや愛着を持てる魅力的な韮崎となることを将来像とし、韮崎が育んできた歴史文化の尊重と、その保存活用による地域づくりの実現をめざすことを定めたもの。

## 5 歴史文化を表す つのキーワード

花開く原始古代、山の神々に守られた、武田氏を育んだ、  
治水利水、人と物をつなぐ

### 課題

- ・ストーリーによる歴史文化資源の継承
- ・歴史文化自然的環境への関心と誇りの醸成

### 保存活用方針

- ・地域づくりの根幹となる、歴史文化資源の保存・活用・利活用のサイクルの構築
- ・歴史文化を尊重したストーリーに基づく歴史文化資源の保存活用

## 保存活用のための取り組み

### 【仕組み作り】文化財の指定・登録の推進

平成27年に本市の歴史文化の特徴である七里岩（一部）が名勝地として登録文化財になった。登録に合わせて、現地に解説板の設置及びふるさと歴史再発見ウォークの開催を実施。



### 【気運作り】ストーリーに基づくまちあるきの開催

基本構想策定以降、各地域または地域を超えたストーリーを作成し、ふるさと歴史再発見ウォークを定期的に開催。既に32のストーリーを作成し、図書館等への設置、地域公民館や観光客への出前講座等で活用。



### 【仕組み作り】仮称・武田の里遺産登録制度の導入

歴史文化に対する市民の関心を高め、その保存活用の気運を高めるために、文化財指定とは異なる、文化財の存在を確認することからはじまるような緩やかな保存・活用を視野にいたした市独自の登録制度を立ち上げ、「遺産台帳」の登録を進める予定。

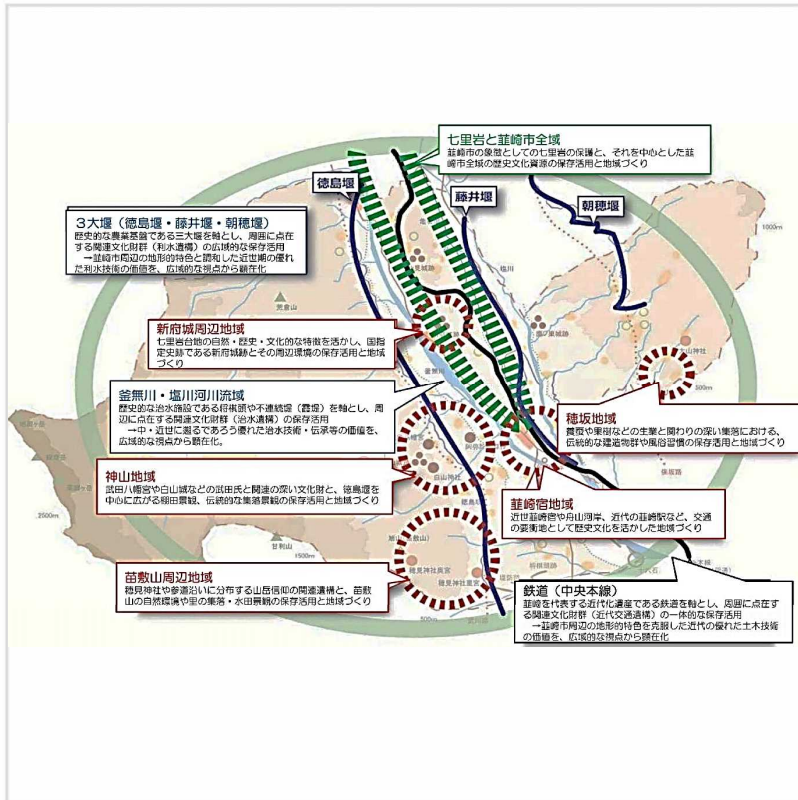
### 【担い手作り】学校教育との連携

史跡への遠足、民俗資料館や偉人資料館などの文化財施設への校外学習や学校への出前講座を行うことにより、個々の文化財の魅力のほか、文化財や周辺環境の重要性を学ぶ機会を創出。





## 関連文化財群



本市の自然地形を背景として、歴史文化の特性を象徴的に物語る6つのテーマ（話楽原始古代の韮崎、山の神々に守られた韮崎、武田氏を育んだ韮崎、治水利水の韮崎、人と物をつなぐ韮崎、人の営みの深い韮崎）を設定。これらのテーマが文化財として象徴的に表れている範囲を保存活用（推進）地域として設定。

### ストーリー

- 1 韮崎らしい地形と歴史文化の舞台七里岩
- 2 韮崎を潤す歴史的3大堰と水を治める堤防群
- 3 明治時代の近代化で推進された鉄道遺産群
- 4 武田氏文化財と棚田風景の神山
- 5 韮崎の地理的特性を活かした武田氏の新府城
- 6 陸路・水運の拠点韮崎宿
- 7 古代につながる里山の山岳信仰苗敷山



## 策定後の成果（見込まれる効果）

**① 文化財登録・民俗文化財への注目**  
本市を特徴づける地形であるとともに、歴史文化の舞台として生き続けている七里岩が名勝地として登録文化財となった。このことにより、ありふれた景観の中に、本市の本質的価値を構成する文化財が存在することを改めて示すことができた。また、民話等民俗文化財に対する注目が集まってきた。



**② 文化財に対する理解の深まり**  
市内の歴史文化資源を総合的に把握し、歴史文化の特徴を読み解き、本市の骨格として次世代に継承することが、結果的に地域活性化、農業・観光振興、移住・定住化促進に結びつくものと見込まれる。本市らしさを構成する文化財の価値に対する理解の深化が認められる。



**③ 官民協働による文化財の把握**  
文化財を総合的に把握するには、官民協働が不可欠である。協働により、「文化財は人々の意識・無意識の中で継承・発展してきたものである」と認識され、「地域にとってかけがえのないものであり、魅力的なものである」と再認識するきっかけとなる。その結果、連携協力が促進され、地域力へと昇華されることが見込まれる。

